

静岡県東部地域企業経営動向調査

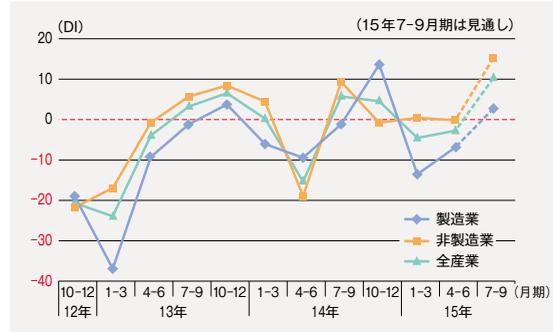
(2015年4-6月期実績、2015年7-9月期見通し)

1 業況概要(自社)

DIは前期比上昇、製造業で上向きに転じる

静岡県東部地域における2015年4-6月期の業況判断DI(対前期比)は、全産業で-2.6(前期-4.4)と前期比若干の上昇に転じた。製造業では金属製品などで低下したが、食料品やパルプ・紙・紙加工品では改善し、全体で-6.7(前期-13.4)と上向きに転じた。一方、非製造業では卸・小売・サービス業で改善したが、旅館・その他宿泊所や建設業で低下し、全体で0.0(前期0.6)とほぼ横ばいで推移している。

2015年7-9月期の予想DIは、全産業で10.5となり期待感強い。業種別でも、製造業2.9、非製造業15.4と大幅な上昇が見込まれている。



業種別天気図



(2015年1-3月期、4-6月期は前期比、7-9月期は今期比見通し)

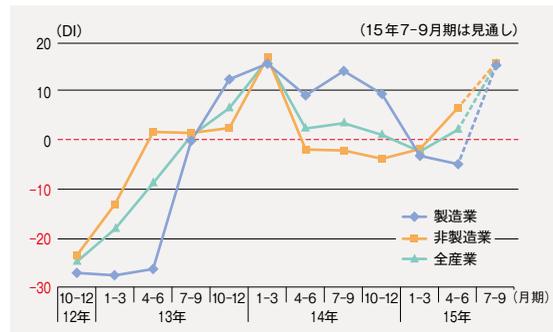
業種	2015年1-3月期	2015年4-6月期	2015年7-9月期
製造業	曇り	曇り	曇り
食料品	曇り	晴れ	曇り
パルプ・紙・紙加工品	曇り	曇り	曇り
一般機械器具	曇り	曇り	晴れ
非製造業	曇り	曇り	晴れ
卸・小売・サービス業	曇り	曇り	晴れ
旅館・その他宿泊所	曇り	曇り	晴れ
建設業	曇り	曇り	晴れ

2 売上動向

製造業は小幅な低下、非製造業では各業種で上向き

2015年4-6月期の全産業の売上動向DI(対前年同期比)は2.3(前期-2.2)と上昇に転じ、プラス水準を回復した。製造業では、一般機械器具が大幅に上昇、食料品やパルプ・紙・紙加工品も上昇したが、金属製品などで下降したため、全体では-4.8(前期-3.1)と3期連続で低下となった。一方、非製造業は旅館・その他宿泊所で大幅な上昇となるなど各業種でDIが上向いたため、全体でも6.8(前期-1.7)と改善されている。

2015年7-9月期の予想DIは、全産業で15.8と上昇が見込まれている。うち、製造業では15.5と大幅な上昇が期待され、非製造業でも16.0と上向き傾向が続く見込み。

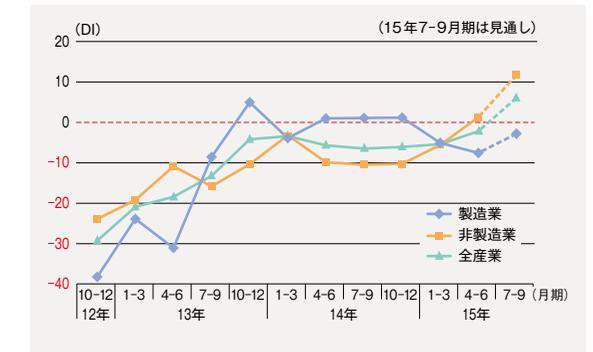


3 利益動向

製造業は2期連続で低下、非製造業は上向きの期待がかかっている。

2015年4-6月期の全産業の利益動向DI(対前年同期比)は-2.3(前期-5.5)と前期比上昇となった。製造業では、パルプ・紙・紙加工品では前期より回復しているが、食料品は引き続き低調、金属製品も若干低下となったことから、全体では-7.7(前期-5.2)となり、DIは2期連続で低下している。一方、非製造業では建設業は低調であるが、旅館・その他宿泊所やその他小売・サービス業等で上昇したため、全体でも1.2(前期-5.7)と上向いている。

2015年7-9月期(見通し)の予想DIは、全産業で6.0と回復傾向が持続する見込み。うち、製造業では-2.9と反転上昇、非製造業は11.7とさらなる改善への期待がかかっている。



4 経営上の問題点

「原材料・仕入商品の値上がり」がやや低下

上位項目についてみると、「受注・売上の停滞・減少」が前期比上昇、「人材の育成」は前期とほぼ同水準で推移したが、「原材料・仕入商品の値上がり」はやや低下した。一方で「過当競争・製品安」や「生産・販売能力の不足」は前期比2~3ポイント上昇している。

「受注・売上の停滞・減少」が前期比上昇、「人材の育成」は前期とほぼ同水準で推移したが、「原材料・仕入商品の値上がり」はやや低下した。一方で「過当競争・製品安」や「生産・販売能力の不足」は前期比2~3ポイント上昇している。

(単位:社、%)

項目	14年10-12月期		15年1-3月期		15年4-6月期		順位変動
	企業	比率	企業	比率	企業	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	127	49.4	131	48.2	132	49.6	→
2. 人材の育成	80	31.1	100	36.8	97	36.5	→
3. 原材料・仕入商品の値上がり	96	37.4	96	35.3	82	30.8	→
3. 過当競争・製品安	69	26.8	78	28.7	82	30.8	↑
5. 従業員の高齢化	81	31.5	76	27.9	71	26.7	→
6. 人件費の増加	57	22.2	67	24.6	61	22.9	→
7. 求人難	40	15.6	53	19.5	54	20.3	→
7. 生産・販売能力の不足	47	18.3	47	17.3	54	20.3	↑

調査の概要

1. 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
2. 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業502社 回答数266(回答率53.0%)
3. 調査方法 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
4. 調査対象期間 実績:2015年4-6月期 見通し:2015年7-9月期
5. 調査時点 2015年5-6月

DI: ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標です。